

(様式第4号)

上田市男女共同参画推進委員会 会議概要

1 審議会名	上田市男女共同参画推進委員会
2 日時	令和元年11月18日 午後1時30分から午後3時45分まで
3 会場	市民プラザ・ゆう 2階 教養室
4 出席者	富松裕子会長、田中晋副会長、足立則男委員、新井敦子委員 廉澤輝樹委員、西山智彦委員、藤原美津子委員、横山清江委員
5 市側出席者	佐藤人権男女共生課長、渡辺男女共同参画係長、松澤人権男女共同参画課主査 横田真田市民サービス課市民窓口担当係長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月20日

協議事項等

1 開会
2 あいさつ(会長)
3 職員・委員紹介
4 会議事項
(1) 平成30年度上田市男女共同参画事業実施状況・令和元年度実施計画について(資料1、1-2)
・資料に沿い、係長から概要を説明
(2) 第3次上田市男女共同参画計画における目標値設定における現状(資料2)
・資料に沿い、係長から概要を説明
(3) 上田市各組織の女性の登用率について(資料3)
・資料に沿い、係長から概要を説明
・以降、協議
(1) 平成30年度上田市男女共同参画事業実施状況・令和元年度実施計画について
(委員) すごいボリュームがあるが、全部できるのか。やらないといけないのか、それともやりたいという目標なのか、どちらの方が強いのか。
(事務局) 男女共同参画計画に基づいた項目をのせてあるが、当課だけですべてできるということではなく、それぞれの項目ごとに担当課があり、担当する項目に対してそれぞれを担当課において、男女共同参画に関わった事業を行ったという内容となっている。
(委員) 今説明のあった内容というのが、特に重要な内容ということでもいいのか。
(事務局) 項目がたくさんあるので、その中から重要な部分を説明させて頂いた。
(委員) 項目がたくさんある。実施の内容をみると、いろんな課にまたがって事業がされている。施策ごとに担当している課がわかるものがあればと思うが。
(事務局) 課ごとに担当している施策の一覧表があるので、次回はそちらも資料とします。
(委員) 資料1-2のNo20の保育サービスの充実について、0歳児から3歳児の保育という点で、待機児童についての情報のつかみというのはないのか。
(事務局) 今のところ、待機児童は0ということです。待機児童についての情報は、保育課の方で把握している。

(2) 第3次上田市男女共同参画計画における目標値設定における現状

(委員) No23 子育てサポーター養成人数、400人ですが、これはどういう内容でどういう活動をしているのか。

(事務局) 子育てサポーター養成については、子育て・子育て支援課で担当をしており、詳細については、担当課の方へ確認をし、またお伝えをする。

(委員) No7 農業委員会の女性の比率が4.3%と低く、目標値の設定が空白となっているが。

(事務局) 第3次の計画が策定された時に、目標値の設定が未設定であったためこのようになっている。資料の1-2に31年度の数値がのっており、31年度は8.5%と少しあがってきている状況ではある。

(委員) 資料をみると、素晴らしい事業をたくさんしているが、上田市全体では、男女共同参画はどのようになっているのか。どのように考えているのか。

(事務局) (女性の) 自治会長、PTA会長など、全体的には増加傾向にある。また、若い世代においては、ワークライフバランス、子育てを一緒にするなど、意識が高い。来年度、意識調査をする予定であり、今の段階では徐々に男女の割合は平均してきていると考えている。

(委員) No5 一時保育の実施園件数は、目標値19園に対して、先ほどの報告の中で、令和元年度の実施計画の中で19園で、これは目標値にあがっているということ？

(事務局) 33年度の目標値が19園ですが、30年度は10園でしたということです。

(委員) 最近、こども食堂が有志で実施されたり、計画されたりしているが、この資料の中で該当する欄というのはあるのか。

(事務局) こども食堂はボランティアという位置づけであり、該当する項目には入っていない。

(委員) 今年は、国連の家族農業年である。やはり女性の農業委員を増やしていくことが大切ではないのかと考える。

(委員) 女性の意識の問題もあるのではないか。

(委員) 行政からの働きかけと女性の意識を作っていくということが大事である。

(事務局) 啓発ということで大事なので、農業委員会と連携しながら進めていく。

(会長) No9 意識の問題については、目標値80%で、65.8%まで上がってきていて、目標値に近づいてきていることはわかる。意識というのがすべてにかかわるところである。

(委員) 基本的なことだが、上田市男女共同参画計画というのは、あくまで、市の関係の課の関係する組織で登用率をだしているのか。例えば、農協とかの登用率とかはでてないのか。

(事務局) 市ではない団体に対しても、男女共同参画表彰などを行い、啓発はしていくが、それぞれの団体の考え方もあるので、ここにはのらない。

(会長) 女性相談員による相談数が増えているが、現状が厳しいのか、気楽に相談ができるからなのか。

(事務局) この相談は、なんでも相談としており、他課の専門的な相談よりも、来やすいように内容等も限定せず、ハードルを低くしてあるということもある。最近は男性からの相談も増えてきている。

(4) 上田市各組織の女性登用率について

(会長) 男女平等の指数で、一番、足をひっぱっているのが議員ですね。上田市は議員数が少ない。

(事務局) 市議会議員は31年度については女性が1人増えて、3人という状況である。

(委員) 今年は、公民館長は女性の館長が1人増えた。

(会長) 市の職員の(女性の)課長も増えている。

(事務局) 行動計画の方で、女性の管理職を増やそうということに取り組んでいる。

(会長) 企業の方はいかがですか。

(委員) 推薦はするが、子育てが終わった方は任用すればやってくれるが、子育て中、子どもが成人していないなどの事情がある方は難しい。夫婦で同じ会社にいる場合、夫が退職した後であれば、受けるということ等、様々なケースがあり、平等に対応をすることと、本人の意向を確認した上で、ケースバイケースで対応をしている。

(5) その他

- ・令和元年度上田市男女共同参画推進事業者表彰について事務局から説明
- ・今後の予定について事務局から説明

7 閉 会